

水無川流域の沢

コクトツ沢 1987年8月29日
I

蔵川にそった林道をぎりぎりまで車を乗り入れる。昨年の大水で林道はかなり荒れており、コクトツ沢出合まで乗り入れることはできなかった。

8:10遡行開始。出合は濁沢となっており、土砂がかなり押し出してきている。山は相当に荒れているようだ。5分ほど歩くと水の流れが出てくる。きれいな水である。そして砂防ダム。石積みのダムで、この先さらに3つ出てきて、「よくもこんな山奥にまで」と思うくらいの所にまで作られていた。

2つ目の砂防ダムの手前のあたりは、左岸が大きく崩壊している。「ダムなんかを作るより木を切らない方がよっぽど治山の役に立つ」と話しながら進む。

2つ目の砂防ダムを越えると、ちょっとしたゴルジュ状となる。「これは滝が出てくるかもしれない」と話していたら、砂防ダムがあっただけで平凡となってしまった。そしてその先も、小さなナメと小滝2つが出てきただけで、平凡なままで源流となってしまった。遡行終了
10:10。

(記)

[タイム] 出合(8:10)→遡行終了(10:10)

滝沢 1987年8月29日
I

たきざわ橋より水無川左岸ぞいにヤブをこいで滝沢に出る。出合よりすぐ堰堤が見え、また水量も少なく、いやな予感がする。

出合より堰堤を2つ越え、シモリョウ沢出合まで、約1時間程河原歩きである。さらに堰堤を2つ越えると、4mの滝が見えるが、滝の背後に堰堤があり、興ざめす

